



平成 26 年 11 月 28 日

各 位

会 社 名 ソマール株式会社
代表者名 代表取締役社長 曾谷 太
(コード番号 8152 東証第2部)
問合せ先 IRC 部 長 牧野 光
TEL 03-3542-2160

連結子会社の解散および特別清算方針に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、当社の連結子会社であるソマテック株式会社を解散し、特別清算をする方針について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 解散および特別清算方針の決定に至った理由

当社の連結子会社ソマテック株式会社は、当社グループの基幹事業の一つである高機能材料製品の生産・販売の一翼を担う目的で、平成20年6月、宮城県に設立されました。その工場建設の第1期工事として、当社の新規開発製品に関わるコーティング製品を生産するための工場建設が進められましたが、建設途中で起こった東日本大震災による工事の一時延期という大きな試練を乗り越えて、平成24年4月に工場がようやく竣工しました。

同工場で生産する新規のコーティング製品は、スマートフォンで代表される携帯端末機器などの市場を主要なターゲットとして販売の促進を目指してきましたが、市場で実際に使用承認が得られるまでには、顧客側の時間をかけた慎重な製品評価が必要といった事情もあって時間を要し、当初に見込んだ展開にはなかなか至りませんでした。

そのような状況下で、当社は、当該会社のコーティング製品の市場への浸透を速やかに図るべく、技術・営業面での人的支援や運転資金の貸付等の資金的支援などを行ってきましたが、ターゲットとする市場環境が工場の竣工に至る間に大きく変化し、その変化の速さも加わって製品品質への要求事項も高度化・多様化し、更には、競合各社間の競争も激化したことで、製品販売の進展に大幅な遅れをきたす状況となりました。そのため、平成26年3月期には、当該会社の保有固定資産につき7億8千8百万円の減損損失を計上することとなり、また、当社の個別決算においても特別損失として関係会社貸倒引当金繰入額29億2千5百万円を計上するなどの処理を行いました。当期(平成27年3月期)の上半期に至ってようやく中国市場での販売実績が積み上がってはきたものの、販売計画の売上高には遠く及ばず、計画からの大幅な遅れによって、減価償却費の負担や生産初期段階での低い製品歩留りなどに基づく生産コストの高止まりなどが重くのしかかり、いまだ毎月1億円を超える赤字の計上を余儀なくされており、この状況が当社連結決算における収益の大幅な悪化を引き起こしています。

当社といたしましては、当社グループの連結収益の黒字化がなによりも急務の課題であります。従って、当該会社の厳しい事業環境や収益改善の大幅な遅れが当社自体の財務体質にもきわめて大きな負の影響を及ぼしている現状を踏まえ、これ以上の支援を継続することはもはや困難となってきたため、当該会社の経営陣とも協議の結果、当該会社の解散および特別清算を行うことが最善であると判断いたしました。

2. 解散する子会社の概要

(1)	名 称	ソマテック株式会社		
(2)	所 在 地	宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ 2 番地		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 古田 善彦		
(4)	事 業 内 容	コーティング製品の製造・販売		
(5)	資 本 金	50,000,000 円		
(6)	設 立 年 月 日	平成 20 年6月 16 日		
(7)	大株主及び持株比率	ソマール株式会社 100%		
(8)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社が発行済株式の 100%を保有しております。	
		人 的 関 係	当社の執行役員1名が当該会社の代表取締役を兼任しております。 その他、当社の役職員5名が当該会社の役員を兼任しております。	
		取 引 関 係	平成26年3月期において長期貸付金 67 億5千万円の債権残高があります。その他、業務委託等の取引関係があります。	
		関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の連結子会社であるため、関連当事者に該当いたします。	
(9)	最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 24 年3月期	平成 25 年3月期	平成 26 年3月期
	純 資 産	△193 百万円	△1,277 百万円	△2,925 百万円
	総 資 産	5,287 百万円	5,057 百万円	3,940 百万円
	売 上 高	2 百万円	51 百万円	92 百万円
	営 業 利 益	△137 百万円	△1,036 百万円	△1,153 百万円
	経 常 利 益	△169 百万円	△1,082 百万円	△1,207 百万円
	当 期 純 利 益	△169 百万円	△1,083 百万円	△1,648 百万円

3. 解散および特別清算の日程

平成 26 年 11 月 28 日	当社取締役会におけるソマテック株式会社の解散および特別清算方針承認決議
平成 26 年 11 月 28 日	ソマテック株式会社臨時株主総会における解散決議
平成 27 年 2 月 下旬	特別清算申立(予定)
平成 27 年 4 月 下旬	特別清算終了(予定)

4. 業績に与える影響(解散に伴う損失額)

ソマテック株式会社の解散に伴い、当該会社が保有する固定資産等の譲渡処分を行うこととなりますが、固定資産等の譲渡契約内容などによって解散に伴う損失額が大きく変動しますので、現時点で損失額を算定することは困難であります。従って、損失額が固まり次第速やかに開示いたします。

5. 今後の見通し

当社は、厳しい経営環境の下、本年5月からは役員報酬の大幅減額を実施し、不転の決意で当社グループ全体の効果的かつ効率的な連携による業務改善を目指してきました。そうした取り組みの中で、ソマテック株式会社の事業につきましては、上記の通り当該会社の解散と特別清算方針の決定を行いました。

この決定により、平成27年3月期においては一時的に大きな特別損失が発生しますが、当社の個別業務ならびに海外子会社の業績自体は底堅く堅調な進展をしていますので、今後の当社の連結業績につきましては、平成28年3月期での黒字化を目指し努力してまいります。

なお、平成27年3月期通期の連結業績予想ならびに個別業績予想につきましては、ソマテック株式会社の損失額が固まり、開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。